

多高通信

第155号 平成30年6月27日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

鉄道乗車マナーアップ運動

5月14日・15日の2日間、鉄道乗車マナーアップ運動」が下馬駅において行われました。参加したのは生徒会執行部のメンバーと放送部の皆さん。駅利用、乗車マナー向上のためティッシュ配りを行いました。また、放送部のメンバーは、駅の構内放送を使いマナーアップを呼びかけました。



■畑岡茜音

(1年4組 多賀城中出身)
3回目と今回のキャンペーンに参加して、初めてポケットティッシュを配る立場を経験しました。普段は何気なく受け取っているティッシュですが、配っている理由というものを意識させられ、とても良い経験になりました。これからも地域の活動に積極的に参加していきたいと思っています。

多賀城市鶴ヶ谷児童館

こどもまつりボランティア

5月19日、多賀城市鶴ヶ谷児童館の第44回こどもまつり」が、児童館と貞山高校グラウンドで開催され、本校のボランティア22名がこどもまつりの運営や準備・片付けで活躍しました。



■大場有紗
(3年7組 西山中出身)

今回のボランティアは多賀城の様々なボランティアをしている団体の方々や児童館の職員の方々と一緒に活動しました。来場者数はボランティアをしてくださった方々を加え70名以上が参加して、お祭りは大いに盛り上がりしました。私たちは様々なブースに分かれて運営のお手伝いをしました。私が参加した工作ブースでは手作りのうちわを未就学児や小学生と一緒に絵を描いたり、シールを貼ったりして作りました。作っている時にいろんな話をしてくれたり、一緒に作業したり、子どもとのコミュニケーションをたくさん取ることができました。ボランティアを通して自分が通っている高校周辺の子どものちや地域の人たちと交流でき、一緒に楽しさを味わう事が出来て本当に良かったです。また来年の祭りも多賀城高校が協力していければいいと思います。



軽音楽部 松島パークフェス出演

5月27日、松島海岸で行われた松島パークフェス2018のハイス쿨ステージに軽音楽部の2・3年生計8バンドが出演しました。高校生が出演するハイス쿨ステージは今年で3度目となり、このステージを含め14の野外ステージが設けられ、松島海岸一帯が音楽に包まれる1日となりました。

■鈴木陽菜(3年5組 塩竈一中出身)

3回目となる松島パークフェスステージの高校生ステージ。野外イベントではいつも私たちがライブをしている環境と異なり、音が散らばってしまいます。その分音作りや息の合わせ方が難しい部分もありましたが、よりよいサウンドになるよう部員同士お互い音を確認し合いながら演奏することができました。観客の皆さんはもちろん、演奏する場を作ってくれたボランティアの方など、その場にいた全ての人に楽しんでもらうつもりで演奏しました。また、ハ



野外での演奏！多くの方にお聴きいただきました。

イス쿨ステージに出た他のバンド、他のステージのライブも見ることができ、音作りやパフォーマンスなどで勉強になるものがたくさんありました。これからもたくさんの人に楽しんでもらえるような演奏を部員一丸となって作り上げていきますので、応援よろしくお願いします！

東北福祉大学と

包括連携協力を締結しました

本校と東北福祉大学との包括連携協力に関する協定締結式が、5月29日、東北福祉大学で行われました。

あいさつに立った大谷哲夫東北福祉大学学長は、同大学が理念とするよりよい社会づくりのためにその土台となる“人づくり”が肝要であるとし、生徒皆さんの夢を実現させるため大学としても全力で応援します。今回の締結はそのために大変意義のあるものと思います。」と述べられました。



大谷哲夫東北福祉大学学長(中央右)と佐々木校長(中央左)

佐々木克敬校長

は、協定締結の感謝を述べたあと、今後、東北福祉大学との連携により自然科学、社会科学の両面において生徒が学ぶことができることと期待しております。今後は防災・減災学習の

パイロットスクールとして、大学の力をお借りして、国内にとどまらず海外にも成果を発信し、さらには命とくらしを守る生徒が育つことを期待しています。」と結びました。

なお、今回の協定締結を記念し東北福祉大学より人間国宝の美術工芸家・芹沢銈介氏による作品「ろは文」(複製)が贈られました。

くらしと安全A 特別授業

DIG (災害図上訓練)

5月30日、くらしと安全Aの特別授業 DIG(災害図上訓練)が行われました。講師に八千代エンジニアリング株式会社の寺脇氏

をお招きし、2学年全員に授業を行っていただきました。多賀城市で発生した過去の災害やハザードマップ、洪水・土砂災害などについて学んだ後、グループごとにDIGに挑戦しました。設定や地図を踏まえながら、どのように避難をすれば良いかを考えることができました。



寺脇先生の講義



DIG(災害図上訓練)の様子

特に、災害科学科の生徒たちは、これまでの専門的な学びを生かして、地形や状況などから幅広い想定をして考えていたのが印象的でした。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。今回の学びをきっかけに、もしもの時に適切な避難ができるようになってほしいと思います。

■生徒の感想

○今までは自分が避難することしか考えたことがなかったのですが、自分たちがその地区の防災リーダーになった設定で、地域の人々をどのように避難させればよいか考えるというのは新鮮な体験でした。

○日頃から災害について考え、家族と話し合うことが大切だと思いました。避難訓練をしているとはいえ、避難訓練どおりにいくとは限らないので、自分で意思決定することが必要となると分かりました。いつ災害が起こるか分からないので、常に備えておこうと思いました。

○今回の授業では、洪水や土砂災害が起こったときにどのように避難すれば危険でないか、高齢者はどうするかなど、普段あまり意識できていないことを考えることができてとても良い機会でした。これを機に、自分の家の周辺はどうなのか調べて災害に備えようと思いました。また、災害が起きたときに臨機応変に対応することが大事だと学びました。



グループごとの発表

多高生が講師を務めました!

塩竈一中 防災活動

6月10日、本校2年生の防災委員13名が、塩竈一中の「防災活動」の講師を務めました。この日は、塩竈市総合防災訓練の日で、塩竈一中では、市全体の避難訓練の後に学年毎に防災活動に取り組みました。本校防災委員は、中学2年生11名と地域の方を対象に、多賀城高校における防災活動の発表「防災ワークショップ」を行いました。



ワークショップの様子



中学生も一生懸命発表してくれました!

多賀城高校における「防災活動の発表」では、災害科学科の授業内容も紹介しました。塩竈一中の生徒さんは、私たちの発表を興味深く聞いていました。また、防災ワークショップは、地域の方にも参加していただき、12グループに分かれて行いました。グループ毎に自分が「沿岸部」「都市部」「山間部」のどこにいるかを決めてもらい、その場所で台風が接近して大雨と強風が心配されるときに「起こりうる災害や被害」と事前の備えや身を守る行動「を考え、最後には全体で発表しました。地域の方がたくさん参加してください、中学生と活発な意見交換が行われて有意義なワークショップとなりました。防災委員にとって貴重な経験となりました。

■長濱ひかる(2年5組 塩竈一中出身)

今回は自分の出身校ということもあり、楽しみながらリラックスして参加することができました。自分が中学生のときは高校生と一緒に防災について学ぶ機会はなかったのですが、後輩たちは、みんな防災への意識や自分の意見をしっかりと述べていて凄いなと思いました。もっと中学生と高校生とで防災について考える機会が増えるといいと思いました。

■武蔵陽治(2年1組 東仙台中出身)

始まる前は心配でしたが、話し合いが活発に行われて

いたので、とても良かったです。また、地域の方々の協力もあり、貴重なご意見をいただくことができました。そして、私自身も防災に対する意識が高まったように思います。今後の活動でも、防災・減災についての知識を多くの人に広められるよう、努力していきたいです。

県総体結果報告

山岳部 男女アベック優勝!

インターハイ出場!

弓道部 女子個人3位!

東北大会出場!

6月2日から行われた県総体で、山岳部が男女ともに優勝し、東北大会とインターハイへの出場を決めました。また、弓道部は女子個人で3位入賞を果たし、東北大会へと駒を進めました。おめでとう!

■山岳部(男子) 阿部大和

(3年7組 気仙沼市立小泉中出身) 今回の船形山系での県総体で88.6点の成績で1位となり、東北大会、そして、三重でのインターハイ出場を決めました。大会は4人で1チームですが、メンバー4人以上の部員の助けがあってこそ今回の結果だと思っています。山岳の大会は、大会に臨む前の下見登山や計画書作り、各種筆記試験に向けた準備が8割で、大会期間中に元気に山を登りきることが残りの2割だと思っています。新入部員の世話やサポートをしてくれた2年生のおかげで、大会メンバーの3年生は準備に専念することができました。皆はあまりピンと来ていないかもしれませんが、私たち大会メンバーはともかくついていました。また、顧問の金澤先生のもので3年間活動でき、本当に良かったと思っています。



山行出発前の女子チーム(左)と男子チーム(右)

7月27日から8月8日までの長丁場となりますが、他の部員の支えと金澤先生からご指導いただいたことを誇りに、大会に挑んでいきたいと思っています。

■山岳部(女子) 山岳部部長 柴崎千寛

(3年6組 しらかし台中出身)

皆様の熱いご声援のおかげもあり、山岳部は念願の男女優勝を果たし、東北大会およびインターハイへの切符を勝ち取ることができました。今回の東北大会の会場は秋田県、インターハイの会場は三重県で、どちらも地元宮城からは離れており、天候や環境の違いを考えると今から気が引き締まる思いです。

次の大会では、各都道府県の強豪校が全国制覇を目指して集結します。多賀城高校はインターハイ常連校ではなく、経験や知識は浅い方だと思いますが、顧問の先生方や外部コーチの方々から学んだことを糧に、そして、今まで共に歩んできた仲間との絆を胸に、精一杯頑張ります。応援よろしくお願ひします!

■弓道部 石井彩弥(3年1組 宮城野中出身)

今回の県総体では、多くの方々から頂いた応援のおかげで3位という結果を出すことができました。本当にありがとうございます。

試合では、20射皆中で優勝するという目標で臨んだものの、4本外してしまうなど納得のいく中り方ではなく、満足できるものではなかった。次の試合までに修正する必要があると思っています。また、2位決定戦という大事な場面で緊張と疲労により外してしまい、悔いが残る結果となりました。高校生活最後の大会となる東北大会では、気持ちを切り替え、自分の射をしっかりとし出し、1本も外さないという強い気持ちで臨みたいと思います。

各部の成績

◆硬式テニス

- 男子団体 1回戦 対名取北高 2-1 勝
- 2回戦 対東北学院高 0-3 負
- 女子団体 1回戦 対学院榴ヶ岡高 0-2 負

◆卓球

- 男子団体 2回戦 対巨理高 3-2 勝
- 3回戦 対聖和学園高 0-3 負

◆ソフトテニス

- 男子団体 2回戦 対佐沼高 1-2 負
- 女子団体 2回戦 対柴田農林高 2-1 勝
- 3回戦 対東北高 0-2 負

◆バレーボール

- 男子 1回戦 対加美農業高 1-2 負
- 女子 2回戦 対仙台育英高 0-2 負

◆バスケットボール

- 男子 1回戦 対一迫商業高 71-63 勝
- 2回戦 対古川学園高 64-94 負
- 女子 1回戦 対松山高 64-50 勝
- 2回戦 対仙台一高 30-70 負

◆ソフトボール

- 2回戦 対宮城広瀬高・尚綱学院高合同チーム 1-6 負

◆柔道

- 男子団体 予選リーグ 対登米総合高 0-4 負
- 対名取北高 3-2 勝
- 決勝トーナメント1回戦 対迫桜高 1-3 負
- 男子個人 **ベスト16!**
- 女子団体 予選リーグ 対柴田高 0-3 負
- 対松島 2-1 勝
- 対古川工業高 0-3 負

◆女子個人 **3位入賞!**

- 弓道 **東北大会出場!**
- 男子団体 **3位入賞!** 個人 **ベスト8!**
- 女子団体 **ベスト16!** 個人 **3位入賞!**

◆バドミントン

- 男子団体 1回戦 対明成高 3-1 勝
- 2回戦 対学院榴ヶ岡 1-3 負
- 女子団体 1回戦 対伊具高 3-1 勝
- 2回戦 対仙台一高 2-3 負

◆ラグビー

- 1回戦 対気仙沼向洋高・佐沼高合同チーム 31-12 勝
- 準々決勝 対仙台工業 21-29 負
- 5、7位決定戦 対仙台一高 14-33 負

◆剣道

- 男子団体 予選リーグ 対宮城一高 2-3 負
- 対利府高 0-5 負

◆山岳 **インターハイ(東海総体)出場!**

- 男子 **優勝!**
- 女子 **優勝!**

◆陸上

- 男子 5000M 15位
- 八種競技 **8位!**
- 女子 400Mハードル **ベスト16!**